

宝くじ文化公演

Tokyo
Novyi
Repertory
Theater



シレパノイヴイ
シアター

東京ノイヴイ!

芸術監督・演出 レオニード・アニシモフ

ほんとうの
みんなの
しあわせって
なんだろう

銀河鉄道の夜

宮沢賢治

平成22年

7月3日(土)

みやもりホール

〈開場〉18:00 〈開演〉18:30

【入場料金(全自由席)】

一般1,000円(当日1,300円)

【お問い合わせ先】

遠野市民センター 社会教育課

☎0198-62-4413

※宝くじの助成により、特別料金になっています。
※前売で完売の場合、当日券の販売はありません。
※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。

前売り開始日

5月7日(金)

入場券前売所

- とぴあ ●遠野風の丘 ●グランドインテリア
- みやもりmm1 ●遠野市民センター ●みやもりホール

【主催】遠野市、遠野市教育委員会、岩手県、(財)自治総合センター

【後援】遠野市芸術文化協会、宮沢賢治記念館



宝くじは
豊かさ楽しく
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

銀河鉄道の夜



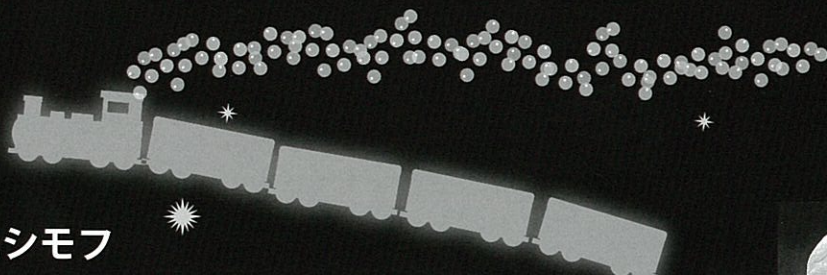
あらすじ

ジヨバンニは、北の海に漁に出かけて帰らないお父さんのかわりに、病気のお母さんを助けるために学校帰りに活版工場で働いている。ケンタウルス祭の晩、友達に仲間はずれにされて一人寂しく丘に登ったジヨバンニは、いつの間にか自分が銀河鉄道に乗っている事に気付く。

感想

私は「銀河鉄道の夜」をお話でしか知っていなくて、本当に人が演じているところを見たのは今回が初めてでした。最初はこんなに小さな舞台でどうやってやるんだろうと思ったけど、劇を見ている内にどんどん引き込まれていって、とても楽しく見る事が出来ました。見ている内は、感情表現がとても自然で違和感がなくて、すごいと思っていました。でも最後にその事を感想で言わせて頂いたら、それは怒るとか泣くとかを表現しようとしてやっているんじゃないかと、その場で自然にわき上がってくるものなんだというお返事が聞けて、とても深く劇について理解することが出来ました。

東京賢治の学校 中学2年 松田 風香

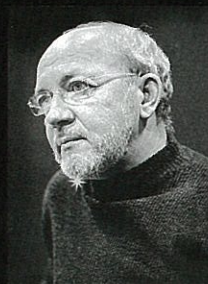


【芸術監督】

レオニード・アニシモフ

ロシア功労芸術家、演出家、スタニスラフスキー・システム研究家として、露・欧・米・韓・日と、世界的に活動。93年文化庁芸術祭優秀賞受賞。

「芸術と文化が人類に与える影響」を考えるシンポジウムも世界各地で開催。日本でもメタカルチャーを合言葉に、世界中から文化人や学者が集まり協議する5回の国際シンポジウムを主宰。



●東京ノーヴィ・レパトリシアター

2004(平成16)年、レオニード・アニシモフを芸術監督に迎え、スタニスラフスキー・システムによる年間100回に及ぶレパトリシア公演をスタート。チェーホフ「かもめ」「ワーニャ伯父さん」「三人姉妹」、ゴロキ「どん底」、シェークスピア「ハムレット」など海外作品の他に近松門左衛門「曾根崎心中」など日本の名作も手がけ、ロシア人演出家の新鮮な目で作品を的確にとらえ、新たな命を吹き込んでいる。「真実」が感じられる演技と、「光と影の芸術」と呼ばれる繊細な演出が国内外で好評を得ている。文化庁の助成企画に選定され、在日ロシア連邦大使館の後援も受けている。